

広尾町立広尾小学校 1 日防災学校実施報告

● 広尾町立広尾小学校のコンセプト

「自らの的確な判断のもとで、防災・減災行動を取ることができる自立性と自然災害に対して、想定される災害イメージを持ち、具体的な対策を考えることができる情報活用力・創造性」を育む。

● 時間割

2 時限 北海道 Do 防災かるた（1 年：生活）

3 時限 新聞紙スリッパ製作（2 年：図工）

津波・地震に関する学習（6 年：総合的な学習の時間）

4 時限 避難所運営体験（3 年：社会）

災害と気温、気象との関係（4 年：理科）

〔連携・協力〕

釧路地方气象台、広尾町役場

① 北海道 Do 防災かるた 	② 災害と気温・気象との関係 	③ 津波・地震に関する学習 
④ 新聞紙スリッパ製作 	⑤ 避難所運営体験 1 	⑥ 避難所運営体験 2 

第1学年 生活科学学習指導案（略案）

日 時 平成30年10月25日（水）2校時（1年生）

児 童 広尾小学校1年1組 児童31名

指導者 水野宏美 中村信期（特支） 眞尾頌子（補助）

1 単 元 名 「北海DO防災カルタ」

2 本時の目標 防災カルタを楽しみながら、防災の知識に感心を持つことができる（探求力・協働性・自律性）

3 展 開

	学習活動	教師の支援と留意点	評価
つかむ 40分	① 児童に身に付けて欲しい防災に関する内容の防災カルタを教師の方で事前に数枚選びつくっておく（15枚+10枚） ② 6グループでカルタを始める。1枚とる度に、専門家から防災に関する説明をしていただく。 ③ 課題をとらえる。	・授業の初めに、見通しを掲示し、伝える。 ＊6グループに分かれてカルタをする。 ＊1枚とる度に、専門家の人説明してもらう。（3分程度の説明） ・教師側の押さえとしてカルタは15回程度で終了する。 15回×3分程度の説明 45分間 ・子どもたちが興味をもった事例については、掘り下げてみる。 ＊専門家の方が説明するのに必要な機器の確認 パソコン、50型テレビなど	[評] 防災カルタを通して防災に関心をもち、進んでに取り組んでいる。
まとめ 5分	④ 専門家の方から広尾町の防災に関わる話を聞き授業の振り返りを行う。 ＊ノートなどは特に使用しない		[評] 防災カルタを通して得た知識を振り返ることができる

第2学年 図画工作科学学習指導案（略案）

日 時 平成30年10月25日（木）3校時（2年生）

児 童 広尾小学校2年1組 児童22名 ・ 2年2組 児童21名

指導者 菅家綾花（2年1組） 慶長宏之（2年2組）

長田崇志（特支） 村中陽子（特支）

1 単 元 名 「新聞紙スリッパづくり」

2 本時の目標 新聞紙の特徴を生かし、スリッパづくりを行うことができる。（探求力・協働性・自律性）

3 展 開

	学習活動	教師の支援と留意点	評価
つかむ 8分	① 自然のすばらしさと、自然のおそろしさ（「自然災害」）について知る。 →足をけがさせてしまうかもしれないことに気づく。 しぜんさいがいにそなえて、しんぶんしスリッパを作ろう。 ② 課題をとらえる。 ③ 学習の流れを確認する。 ・新聞紙スリッパの作り方を知る。 ・班隊形になる。 ・実際に作ってみる。 ・振り返りをする。	・自然豊かな写真と、災害時の写真を掲示し、自然災害の話につなげていく。 ・ICTを活用する。 「自然はすばらしいけど、別の顔もあるんだよ。」 「家の中にいる時に、大きな地震が起こった時、どうしますか？」 「その時、足元はどうなっていますか？」 ・見通しを掲示し、伝える。	
考える 30分	④ 新聞紙スリッパを作る。^{【主】} ・班隊形になる。 ・パワーポイントに示されている作り方を基に、作っていく。 ・わからないところは、班の中で教え合いながら作業を進めていく。^{【対】} ⑤ ④で作った新聞紙スリッパをより頑丈にする作り方を知る。 ※時間が余っていたら、応用編（より頑丈にする作業）を実際に行う。 ※時間が余っていなかったら、実際には作らず、より頑丈にする方法もあることを伝える。 ⑥ 自分の作ったスリッパを履いてみる。 身近な新聞紙を使って、身を守るためのスリッパを作ることができる。	「実際に作ってみましょう。」 ・パワーポイントを使用する。 ・教師も一緒に作りながら進めていく。 ・机間指導し、作業が難しく支援が必要な児童には、サポートをする。 「できあがったら、班の友達と自分が作った新聞紙スリッパを見せ合いましょう。」 ・児童の実態や時間を見ながら、頑丈にする方法を実際にやるのか、伝えるだけにするのかを判断する。 ・パワーポイントを使用する。	【評】 新聞紙スリッパに関心を持ち、進んで新聞紙スリッパ作りに取り組んでいる。
まとめ 7分	⑦ 課題を振り返り、学習をまとめる。 ⑧ 振り返りをする。^{【深】} ・本時の学習でわかったことや初めて知ったことなど、感想を発表する。	「身近なものを使って、身を守ることが大切だね。」 ・今日学習したことの感想を聞く。	【評】 新聞紙スリッパ作りを通して、新しく得た知識を振り返っている。

第3学年 社会科学学習指導案（略案）

日 時 平成30年10月25日（木）4校時（3年生）

児 童 広尾小学校3年1組 児童23名 ・ 3年2組 児童25名

指導者 西田克子（3年1組） 宮下笑奈（3年2組）

伊賀智子（特支） 高野祐輔（補助）

1 単 元 名 「避難所運営」

2 本時の目標 被災時における身の回りにあるもので、避難所運営に対応する方法を知る（探求力・協働性・自律性）

3 展 開

	学習活動	教師の支援と留意点	評価
つかむ 10分	① 広尾町としての避難所運営に関わる概要について役場の方から説明をしていただく。 ・広尾町として広尾小学校の体育館が避難所として運営される災害条件。 ・もし、体育館が避難所となった場合、どの程度の町民が避難してくるか。 ・避難所で手助けが必要な人はどのような人たちか。また、そのような人たちには、どのような対応が必要なのか。	・役場の方と事前に連携し、相談した内容について、児童に伝え授業の見通しを伝える。 ・役場の方が説明するときに必要な機器などについて、事前に確認し用意する。	
考える 30分	② 避難所で過ごすことになったときの具体的な対応の一つである段ボールベッドについて体験してみる。 まずは、ベッドのない状況で床に寝てみる冷たさや、足の歩く音が直接伝わってくることを体感してみる。その後、4グループに分かれて、段ボールベッドを作成する。 老人体験装置などを使い避難所で生活する上で困り感を感じる人たちの気持ちになってみる。	・作業について理解できていない児童について支援する。	評 避難所運営に関心をもち、進んで取り組んでいる。
まとめ 5分	③ 課題を振り返り、学習をまとめる。 ④ 振り返りをする。 ・本時の学習でわかったことや初めて知ったことなど、感想を発表する。 - ノートなどは特に用意しない。	・今日学習したことの感想を聞く。	評 避難所運営を通して、新しく得た知識を振り返っている。